



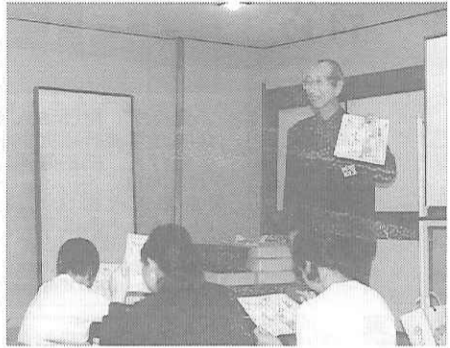
修学旅行実施事例紹介 23

生きる力を育てる修学旅行

～修学旅行を総合的な学習と位置づけての実践～

千葉県我孫子市立湖北台中学校

1. はじめに
私たち教師は、望ましい集団活動の充実によって生徒一人ひとりの集団への帰属感や達成感、集団の一員としての責任感などを高めようとする。ここに特別活動指導の意義がある。しかし特別活動指導が最終的にねらっているのは、いまでもなく集団活動の充実により集団を構成する生徒個々が変容することである。



宿舎に講師を招いて学習会を実施

2. 修学旅行のねらい
①生徒一人ひとりに通して生徒個々が生きる力を高めていくことができるならば、そうした集団活動指導の手法は総合的な学習の時間の指導としての側面をもつとらえることができる。

②生徒個々の興味・関心に応じた学習テーマの設定
事前学習
修学旅行当日の学習
実地学習
事後学習
の学習プロセスを通して、生徒が主体的に学習課題を発見し追究していく学習手法を学ぶ場とする。

③日常の学校生活を離れた様々な活動を通して
f. 明日香の石造物群と飛鳥・斑鳩
e. 京都奈良の伝統工芸
d. 日本庭園
c. 京都・奈良の建造物
b. 京都の文学
a. 京都の町と人々の生活

3. 修学旅行の概要
I期
各自が自分の学習課題、テーマをみつける。
II期
各自の学習課題、テーマについての学習
III期
事前準備の状況集約
IV期(5月11日、13日)
実地研修(修学旅行)

ア. 京都駅到着後研修グループを編成して見学開始。以後3日目京都駅集合まで、毎日異なる研修グループでの行動となった。グループ単位での活動を安全に進行させるために「PHS位置検索システム」を利用した。



京都の伝統文化を体験

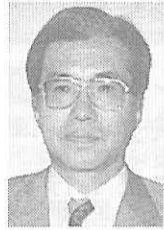
Table with columns for date (日次) and activity content (行動内容). It lists travel dates from 5/11 to 5/13 and corresponding activities like '別荘体験学習' and '清水寺'.

4. 成果と課題
(1)成果
生徒が自分のテーマを発見し、主体的に学習課題を追究していく

(2)課題
私たちがこれまでの校外学習指導においてねらいの一つとしてきた、課題発見→課題学習→実地研修→課題学習→まとめ→発表、という生徒の学習手法の育成は、校外学習や総合的な学習のためだけのものではなく、今後の日常の教科指導を中心とした教育活動全体でねらいとしていかねばならないものと考えます。

教育の窓

一 周囲への無関心
最近の若者の行動を観察していると、ある傾向に気がつく。
・商店の自動ドアの前に双方が同時に立つたとき、相手の人影が見えても、無視するかのごとく直進してきて、危うくぶつかりそうになる。
・電車のドア付近に立ったまま動かず、乗降する客が困っているのに平気な者。数人で車座になり通行の邪魔になつて居る例。満員の座席で足を組んだり、足を前に投げ出したりする者。



渡部 邦雄

東京農業大学教授
元文部省主任視学官

他者の存在

「大学の廊下などでは、ではいか。
「すれ違う。譲り合う」という言葉が死語のように感じられる場面がある。数メートル先の人の存在を意識して歩かなくてはならず、正面衝突しかねない有り様となる。道をあけたら譲つたりができない。
このような例を挙げるとに事欠かない。話題になった携帯電話のマナーと同様にどこかがおかしくなつてきている。

二 異質の他者の存在
一人の人間では社会は成り立たない。自分もたらずことになる。
その時、その場に適切な行動をとることや時とが、いかに大切かを観ただけを主張すること

三 集団活動の重視
若者に他者の存在を認識させ、集団や社会の一員としての行動規範を体得させるためには、学校における集団活動の重視が不可欠である。

四 柱推命
a. 京都人の心
b. 京都の開発と保存
c. ガイドとの交流
d. 2日目のグループ研修では観光ボランティアガイドに同行して指導していただいた。

五 研修レポート作成
イ. 俳句
ウ. 個人新聞の作成
エ. 実地研修を部会・学年集会などで振り返り、さらに向上させた点を以降の学校生活の新たな目標として設定。

六 文化祭での発表
(2)課題
私たちがこれまでの校外学習指導においてねらいの一つとしてきた、課題発見→課題学習→実地研修→課題学習→まとめ→発表、という生徒の学習手法の育成は、校外学習や総合的な学習のためだけのものではなく、今後の日常の教科指導を中心とした教育活動全体でねらいとしていかねばならないものと考えます。

「公」を構成する他者の自由、権利、価値観を否定することにもつながる恐れがある。
周囲の他者の存在に「公」を構成する他者の自由、権利、価値観を否定することにもつながる恐れがある。

「私」も個人の集合体、組織体である。自己の自由や権利、価値観を主張すること

「公」と「私」のバランスが崩れ、「私」が大化してきてしまったのである。

その行動の過程を通して、異質の他者の重なり、違いを克服して望ましい人間関係を構築し、異質の他者と触れあうことが、いかに大切かを観ただけを主張すること

「公」と「私」のバランスが崩れ、「私」が大化してきてしまったのである。

「公」と「私」のバランスが崩れ、「私」が大化してきてしまったのである。

古代文化 邪馬台国ルート

吉岐へ...

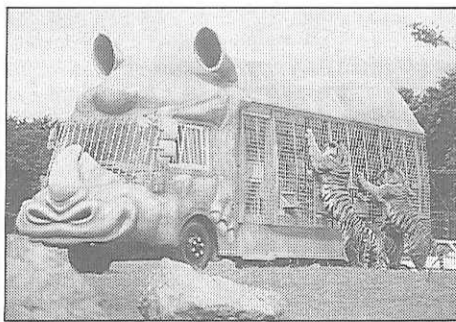
魏志倭人伝に一支国の名で記されている。古代大陸交流の要としてクニを構えていた吉岐。イルカとの共生をはじめ自然とのふれ合いが出来る絶好の教育旅行の場としてお薦めします。



吉岐教育旅行受入協議会事務局
九州郵船

TEL (092) 281-0831
FAX (092) 281-0444
URL http://www.kyu-you.co.jp

動物たちとふれあいながら楽しく学ぶ。



●営業受付時間
9:00~17:00 (3月16日~11月15日)
9:30~16:00 (11月16日~3月15日)
●修学旅行料金(消費税含む)
高校生 1,200円 中学生 900円
小学生 800円
※ガイドラジオ バス1台につき1,100円

九州自然動物公園
アフリカンサファリ

〒872-0722 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
TEL(0978)48-2331代 FAX(0978)48-2330

ジャングルバスチャーター料金1台17,000円(通常21,000円・定員30~35名)